

環境に優しいバリア素材

SHIELDPLUS

紙でできることは紙で。

内容物（特に食品）は製造して以降、時間や環境変化によって次第に化学的な劣化が進みます。このため、内容物を包むパッケージには、酸素や水蒸気などの透過を防ぎ、内容物の商品価値低下を抑える機能が求められます。

SHIELDPLUS は、木質素材 100% からの紙を基材に製紙用水系塗工技術を活用したバリア塗工層を付与することで誕生した『環境に優しい紙製バリア素材』です。

用途・必要物性に合わせた2つのグレード

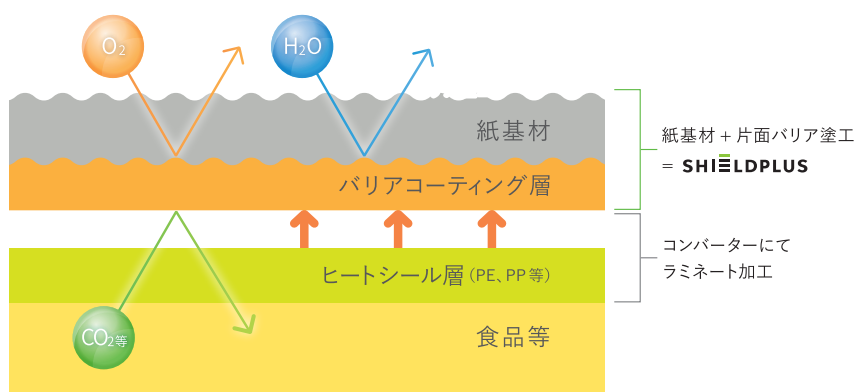
SHIELDPLUS

各種バリアフィルム相当のバリア性を有するスタンダードグレードです。バリアの屈曲耐性を向上、「シールドプラスII」として生まれ変わりました。

SHIELDPLUS Premier (開発中)

“SHIELDPLUS” をさらに高機能化。アルミ蒸着フィルムなど、各種ハイバリアフィルム同等のバリア性を有します。

パッケージ構成イメージ



日本製紙Gが提案する紙製パッケージ



*写真はイメージです

特徴

酸素・水蒸気バリア性

優れたバリア性により、内容物を保護し品質を維持します。

フレーバーバリア性

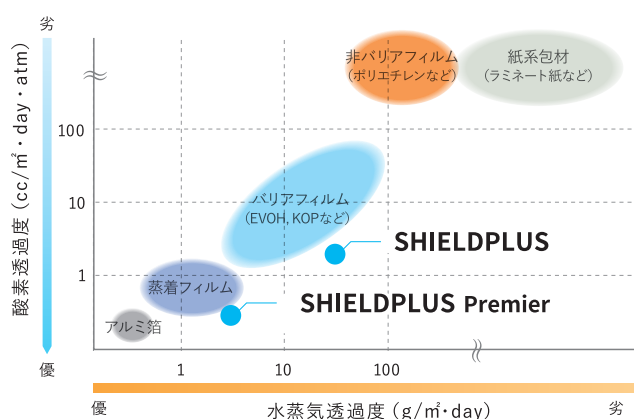
内容物の香りを保持し、「におい」漏れ・「におい」移りを抑えます。

環境適合性

「紙」は循環型資源である「木」が原料です。

酸素・水蒸気バリア性

金属やハイバリア性プラスチックに匹敵する高いバリア性により、酸素や水蒸気による内容物の劣化を抑制します。



環境適合性

枯渇資源であるプラスチックに代わる環境対応型のバリア素材です。



循環型資源の活用！

「SHIELDPLUS」の原料となる「木」は再生可能な資源です。

製造時のCO₂排出量を削減！

プラスチックフィルムからの置き換えにより、包材のライフサイクルで発生するCO₂排出量を抑制できます。



生分解性を有します！

埋め立てなどの廃棄後、自然環境における微生物や酵素の働きによって分解されます。

銘柄と特性値

(2020.10時点)

	米坪 g/ m ²	紙厚 μ m	酸素透過度 cc/ m ² · day · atm	巾 mm	流れ m	グラビア印刷 適性
シールドプラス II (片艶白) □	66	約 70-80	5 >	1,000	2,000	適
シールドプラス II (晒) □	66	約 70-80	5 >	1,000	2,000	
シールドプラス II (未晒) ■	66	約 80-90	5 >	1,000	2,000	

- * このデータは参考値であり、保証値ではありません。
- * 米坪は表示坪量であり、実測米坪ではありません。
- * 酸素透過度の測定：バリア塗工面に L-LDPE30μ をラミネートし、23°C・0%Rh 環境下にて測定 (JIS K7129 に準拠)
- * 上記以外の寸法についてはご相談ください。
- * その他、特注につきましてもご用命承ります。

(注意事項)

食品の直触れ用途でのご使用は意図しておりません。
バリアコート面への水分付着には十分ご注意ください。

